
有り得ない世界にわたし

kiiro

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

有り得ない世界にわたし

【Zコード】

Z9203Z

【作者名】

kiirō

【あらすじ】

知らないけど、マフィアの娘に。

とりあえず、一生懸命に生きる事を目標に毎日を過ごします。
なぜ、どうして異世界に来たのかはわからないけど
、幸せに成るために頑張ってるうちに色々勘違いされて、話が大きくなつてきちゃった話。

お嬢様について その一（前書き）

色々不慣れで間違いもこいつぱいでしょ！が、許してくだせー。

沢山、言いたい事いっぱいでも、優しく見守ってください。

完走出来るようにがんばります。

お嬢様について その1

とつあえず、今日も地道に地味にこえる事を田畠に頑張りつー！

自室のベッドの上で決意表明をしていた。

この世界に生きる事になつてからの習慣。

「お嬢様、朝食の準備が整いました」

格。

彼は、わたしの従者。

わたしの面倒を幼き頃から見てもらっています。

きっと、嫌がられてはいないと思いたい。

「ありがとうございます。」

高そうなカップにお湯を注ぎ込みながら、彼は一口ひと口元を上げた。

「本日は、ファミリーの皆様方ご集合の御命令が、お嬢様もと田畠様があつしゃつておりました。」

「そう、わかりました。参ります。」

わたしはそう答えるながら、面の厚くなつた顔を笑顔に変えた。
何が起きても驚くなんて顔は、表に出さないでいられる自信がある。
だって、それくらいしか私には武器がない。

こんな変な世界に対応出来るわけない！？

ない！？

だって、だって、だって、

マフィアのドンの娘つて何！？

お嬢様について その一（後書き）

完走出来るようになります。よろしくお願いします！

お嬢様について その2

私が初めて従者としてお勤めする事になったのは、12歳。父に連れられ、バレルファミリーの本部にやってきた。今から15年前だ。

バレル島を本部としている為、そう言われているバレルファミリーは、この世界で5本の指に入る大きなマフィアだ。

バレルファミリーのドンには、3人の娘がいる。

長女、イノリさま。

二女、ミノアさま。

三女、ヒノヒさま。

3人のうち、末のヒノヒさまは、奥様が違う方からお生まれになつている。

わたしは、三女ヒノヒさまの従者として推挙された。お嬢様、当時2歳。

ヒノヒさまの従者になるに辺り、マフィアとして力のあるもので、年も近きものではなくてはならないと強く、ドンヒドンナに言われた。

父は、ドンの幹部を務めていた。

2歳と12歳。

近くはないと思うが、私が従者になつた。

ドンの奥様は、金髪波うつ背の高い美人だ。

ヒノエさまは、黒髪で黒眼。腰程にある髪は、艶やかであるが、真っすぐ伸びている。

背も190センチほどある私から見るとかなり低い。

先日、145センチほどであると、専属の医師が言つていた。

当然、3人のうちでも一番低い。

イノリさまは、171センチ。
ミノアさまは、177センチ。

可愛らしいお顔に小さい背。

御本人は気にしているらしく、お食事は何時も魚をメインにして、マルクをお飲みになる。

マフィアの娘だが、好戦的で派手な上の2人に対し、温和しめな方だ。慈悲深い方であり、血生臭い事を嫌うため、マフィアの役目は少々酷ではないかと思つた。

14年前

「ひーーうわ、おじちゃん倒れてる。たしゅけて。」

侵入した賊を見てそつお嬢様はおしゃって、慌てて私の方に向かって走つて來た。

そいつは、今お嬢様の運転手兼護衛をしている渡だ。

11年前

「終、倒れてた。ビリーハー。」

雨の日、雨具を羽織つていたお嬢様は、一生懸命走つて来て私を呼んだ。

それらは、現在お嬢様のペット兼友人となつてゐる、フォボスにデイモスだ。

因みに鷹である。

お嬢様は、マフィアのボスの娘である。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9203z/>

有り得ない世界にわたし

2011年12月28日22時54分発行